

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

| | | | | | |
|---------------------|------|---|---|----------|-----------|
| 事業名 | | 地すべり対策事業 | | 路河川名等 | 市場1号地区 |
| 事業毎の通番 | | 6 | 市町村名 | 小谷村 | 箇所名(ふりがな) |
| 事業毎の通番 | | 6 | 市町村名 | 小谷村 | 箇所名(ふりがな) |
| 事業毎の通番 | | 6 | 市町村名 | 小谷村 | 箇所名(ふりがな) |
| 事業目的 | | 市場1号地区は、過去に数回の地すべり滑动が発生している地域であり、平成23年までに対策工を実施しており、地すべり滑动の安定化が図られていたが、平成26年11月22日の長野県北部を震源とする地震により地すべりが再滑动している。地すべり下方には、人家、公共施設等保全施設があり、地すべり滑动が活発になれば、唯一の生活道路である県道が寸断され、多くの集落が孤立し年間8万人もの人が訪れる観光拠点の雨飾山、小谷温泉にも与える影響は甚大であるため、早急に工事を施行し民生の安定を図りたい。 | | | |
| しあわせ信州創造プランにおける位置付け | | 5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(地すべり災害を防ぐ施設の整備) | 事業実施の根拠法令等 | 地すべり等防止法 | |
| 関連する事業、計画等 | | なし | | | |
| 保全対象・範囲 受益対象・範囲 | | 一級河川中谷川、公民館、保全対象人家1戸、県道250m | | | |
| 着手年度 | | 平成27年度 | 事業期間 | 7年間 | 事業費(千円) |
| 完成年度(見込み) | | 平成33年度 | 費用対効果 | 4.96 | 財源内訳(千円) |
| 全体事業内容(主な工種) | | 排土工 V=60,000m ³ 横ボーリング工 L=4,000m、明暗渠工 L=680m | 500,000 | 250,000 | 225,000 |
| 年度事業内容(主な工種) | | 排土工 V=5,000m ³ 工事用道路工 | 50,000 | 25,000 | 22,500 |
| 事業効果 | | 直接的効果(定量的・定性的) | 河川、人家、道路等の保全 | | |
| 事業効果 | | 間接的効果(定量的・定性的) | 災害に強い地域づくり | | |
| 評価の視点 | 必要性 | 人家戸数: 公共施設数: 災害時要援護者関連施設の有無: 河川への土砂流量: | 保全対象人家1戸 県道、農道、公民館、郵便局 なし 1,000,000m ³ | 評価 | |
| | 重要性 | 過去の災害履歴: 交通遮断による地域経済への影響: 地域防災計画上の位置づけ: | 平成26年11月22日の長野県北部を震源とする地震により地すべり発生 迂回路がない県道が遮断されると孤立世帯が52戸発生する 小谷村地域防災計画に記載がある。 | 評価 | |
| | 効率性 | 費用便益比(B/C): 事業期間: 工法等の比較検討: | B/C=4.96 平成27~33年度(7箇年) 経済比較を行い工法を決定している | 評価 | |
| | 緊急性 | 地すべり滑动度: 地すべり変状: 下流の堰堤等の整備状況: | 伸縮計の変動量が4mm/h未満 平成26年11月22日の長野県北部を震源とする地震により地すべり発生 地すべり末端部の沢には砂防施設が配置されているもの満砂状態である | 評価 | |
| | 計画熟度 | 事業情報の共有: 地域の取り組み: 地域の合意形成: 住民との協働: | 関係者に対し事業説明会を実施し周知している 土砂災害防止に対しての要望は高く、協力的である 地すべり防止事業に対し地域の合意形成が図られている 住民参加型のハザードマップを製作し防災体制の強化を図っている | 評価 | |
| | 部意見 | 平成26年11月22日に発生した地震により地すべり滑动が発生し不安定な状態である。今後の融雪や降雨により被害が拡大する恐れがあることから、早急に対策工を実施する必要がある。 | 行政改革課意見 | 重要性が高い。 | 評価結果 |
| | | | | ○ | A |

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)



【整備の必要性がわかる状況写真等】



| | |
|---------------------|---|
| ①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景 | 基盤地質は、新生代第三紀中新世に堆積した小谷累層泥岩、砂岩層で、地すべりが多発している地質である。過去に数回の地すべり滑动が発生している地域であり、平成23年までに対策工を実施しており、地すべり活動の安定化が図られていたが、平成26年11月22日の長野県北部を震源とする地震により地すべりが再滑动している。 |
| ②地域からの要望経緯及び地域の関わり | 地元役員を通じ、小谷村から対策要望が出されている。 |
| ③事業説明等の経緯 | 地元住民に対し、地すべり対策事業に関する説明会を開催した。 |
| ④他事業・プロジェクトとの整合、関連 | なし |
| ⑤自然環境・生活環境への影響と配慮 | 横ボーリング孔口等、地表に露出するものはふとん管など自然の資材を用いたもので施工し、環境や景観になじむように配慮する。 |
| ⑥地域活性化への影響と配慮 | 本事業により地すべり災害の防止が図られ、災害に強い地域づくりが推進される。 |
| ⑦その他 | なし |

事業代表地点の緯度経度
北緯:N 36.828279
東経:E 137.941094